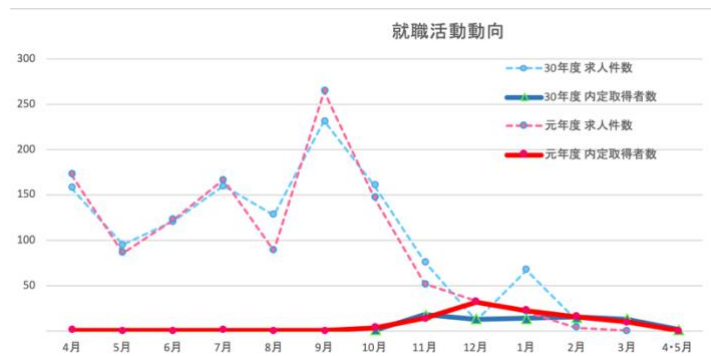


■特徴

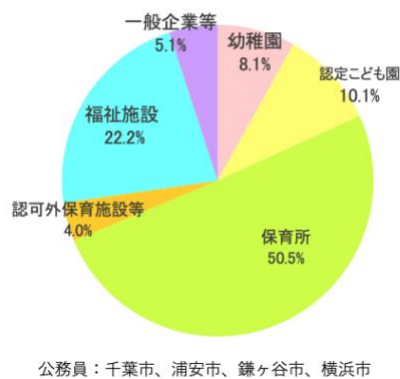
- ・ 保育業界は、求人が多く 100 名の学生に対して 1000 件以上あります。
- ・ 保育業界の就職活動は一般企業よりも遅く 10 月以降です。今年度は、コロナの影響で県内保育者養成校の春の実習が秋に変更したため、11 月に入ってからが本番です。昨年度の内定のピークは例年より遅い 12 月でした。

昨年の求人数と内定取得者数

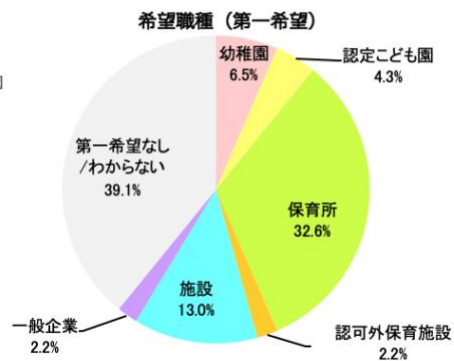


■昨年度の就職状況、今年度の2年生の就職希望状況（2020年5月時点）

昨年度の就職状況



今年度の希望職種



5月の時点では、「わからない」と回答している学生が4割弱ですが、毎年同じような傾向で、2年生の保育実習、教育実習を終えると自分の進路に対する気持ちも固まってきます。

■学校のサポート体制

- ◆ 実習の様子を踏まえての就職指導
- ◆ 就職の際には、園見学と1日ボランティア（園での1日の流れを体験）の推奨
- ◆ ゼミ担当と就職担当教職員の連携
- ◆ 学内就業説明会（9月）、公務員試験対策講座、模擬面接（11月）、ピアノ試験対策の実施
- ◆ 就職後の支援：学内教員による教育実践検討会の開催、ホームカミングデーなど
- ◆ 再就職支援：離職後の再就職先の斡旋
- ◆ 再就職を目指す人のための潜在保育士研修（千葉市との共同）

■保護者の方々へのお願い

- ・保育業界の就職活動においては、十分な求人がありますので、焦らずどのような保育内容の園に就職したいかを考える時間を大切にしてください。
- ・保育園・幼稚園から福祉施設に気持ちが変わる学生がいます。気持ちをよく聞いてあげてください。
- ・実習のサポート 実習先で学生本人が家事（調理、洗濯、掃除など）をできることが必要です。